

市民と心を共有



ごみ処理施設
「バリクリーン」

最新の技術を導入 発電設備を備え防災拠点に

菅良二今治市長は、人口16万の県内第二の都市のかじ取りを担っています。特に今年は獣医学部の開設や、新しいごみ処

り、やく完成しました。新ごみ処理施設の整備は、市町村合併以来の宿願であり、周辺住民の皆さまのご理解がなければ到底実現できなかったもので、新施設の完成はそういった意味でも感慨もひとしおです。

「バリクリーン」は、安全で安定的なごみ処理に加えて、体験や環境発電設備も整備

市民に喜ばれる施設に

大の特徴として、焼却熱を利用した発電設備を備えており、災害時には避難所として、320人の受け入れが可能です。7日間生活できる水や食料、トイレット、ペーパーなども備蓄しています。さらには、軽スポー

ツが楽しめる施設を備え、さまざまなイベントを計画するなど地域コミュニティにとって非常に重要な役割を担っています。たくさん市民の皆さんに納得してもらえ、本当に立派なごみ処理施設が誕生しました。

記者 全国にも誇れる素晴らしい施設ですね。市長 今後は防災に関するイベントや訓練なども行い、市民の皆さんに喜んでいただける施設になればと思います。それから、「バリクリーン」には、日本中から大勢の視察が来られると見込んでいますが、願わくは市内に宿泊し、ぜひ今治市の魅力も実感していただきたいと期待しているところです。

記者 ありがとうございます。最後に市民に向けてひとことお願いします。

市長 全国に誇れるまちを目指し、市民と心を共有することを第一に、これからも一つひとつの事業を丁寧、全力で取り組んでまいります。

菅良二市長

昭和52年9月、大三島町議会議員を5期連続務めた後、平成8年から大三島町長。平成15年4月から愛媛県議会議員

に。平成21年から現職で三期目。趣味はスポーツをすること、観ること、応援すること。空手は二段の腕前。